

「健康な体ときれいな水を守る。」を
理念に、本物の無添加にこだわり続け、
顧客からも社員からも愛される
無添加石けんのパイオニア企業

無添加石けんのパイオニア

シャボン玉石けん(株)は、北九州市若松区に本社を置く、創業百年を越える老舗企業である。特にこの40年間は、「健康な体ときれいな水を守る」という企業理念のもと、無添加石けんの市場を切り開いてきたパイオニアであり、No.1企業である。

定番商品である“シャボン玉浴用石けん”を始めとして、洗濯、キッチン、ヘアケア、ハンドソープや歯磨きまで100以上の無添加商品を製造販売している。

同社は、若松区で日用品などを扱う雑貨商「森田範次郎商店」として創業し、高度経済成長期には合成洗剤の販売で業績を伸ばしていたと言う。そんな中、旧国鉄からの要請で無添加石けんを製造、それを当時、皮膚の湿疹に長年悩まされていた先代の社長、森田光徳氏自身が使ってみたところ、うそのように湿疹が治ったと言う。自ら製造していた合成洗剤の有害性を知り「体に悪いと分かった商品を売るわけにはいかない」との一心で、1974年同社は天然の動植物性油脂を原料に、一切の化学物質や添加物を使用せずに石けんを作る“無添加石けん製造業”に転身する。

しかし、売上は従来の1/100以下の78万円に激減、赤字は17年間も続いたが、「安全な石けんを提供する」という信念で、細々と経営を続けたそう。

1990年代に入ると、先代の社長が「自然流石けん読本」を出版し大きな反響を呼び、また当時は水鳥が油まみれになっているニュース画像などの影響もあり、世界的にも環境問題が深刻化したのを契機に、徐々に無添加の価値が浸透し始め、同社の売上げも着実に増加しながら現在に至っている。

釜炊き製法で一週間かけて丁寧に作られる石けん

同社が顧客に支持されているもう一つの特長は、「ケン化法」という1週間から10日もかけて石けんを釜でじっくりと炊き上げる製法により、コストはかさむが、天然の保湿成分を含み“ツツパリ感”のないしっとりした使用感の石けんを生み出していることにある。世の中に一般に出回っ

ている石けんは、「中和法」と呼ばれる方法で、短時間で大量生産されており、一般の石けんで顔を洗うとわかるように、どうしても“ツツパリ感”が残ってしまう。

1週間以上もじっくり炊きこむ石けんの製造では、「釜炊き10年」という業界用語があるように、熟練した職人の技が必要になる。同社では、釜炊き職人が、石けんがで上がるまで何度も釜の中を確認をする。目だけではなく五感を使って反応具合を確認していき、実際に舌先で味見をしながら丹精込めて石けんを作る。こうして天然の動植物性油脂を使用した、純度99%という無添加の石けんがで上がっていく。

同社には、石けん炊き一筋に64年、石けん作りのことすべてを知り尽くす、日本一とも言える石けん職人の方もいて、80歳を過ぎた今も顧問として、週1日後進の指導にあたっている。こうしたものづくり技術者の考え方や技を若手に伝えていこうとする姿勢も、同社の経営の素晴らしさと言えるのではなかろうか。



舌先で出来を確認する石けん職人

無添加にこだわる新製品開発

同社は、企業理念の達成を目指して、“石けんリサーチセンター”や“感染症対策研究センター”を設立、積極的に新製品開発に取り組んでいる。

こうした中で誕生したのが、石けんのみでインフルエンザなどのウイルスを不活化できるハンドソープ“バブルガード”である。このバブルガードは、広島大学医学部ウイルス研究室と共同で開発した無添加の手洗い用石けんである。病院や介護施設などで働く、頻繁な手洗いが原因で手荒れに悩む人や手洗いを躊躇してしまう人の声に応えた製品で、今では病院や老人介護施設、食品工場、保育園、ホテルなどへと販売が拡大している。

また同社の石けん系泡消火剤“ミラクルフォーム”は、北



代表取締役社長
森田 隼人 氏

1976年北九州市生まれ。
2000年 シャボン玉石けん入
社。2007年 代表取締役社長
就任。
好信案(こう・しん・らん・何事も1
つのことを最後まで成し遂げる
には、好きになって信念を貫き、
しかも自分が楽しみながらでな
ければ長続きしない。)を座右
の銘とし、真の無添加石けんに
こだわる一方、環境問題を広く
社会に伝えるため、積極的な講
演活動に取り組んでいる。

九州市消防局や北九州市立大学などとの産学官連携により誕生した商品で、消防自動車に搭載される消火剤である。その特長は、従来の1/17という極めて少ない水量で消火ができ、石けん系の消火剤のため従来の消火剤に比べ毒性が極めて小さいことにあり、大量の水が必要にならねない震災時への対応が可能となった。更には、“環境配慮型石けん系林野火災用泡消火剤”を開発し、林野火災への貢献が期待されている。

年間2万人近くの見学者を受け入れる オープン化された石けん製造工場

同社は、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。中でも特筆できるものとしては、小中学校などを対象とした“工場見学”の受入れである。年間20,000人近くの方が同社を訪れており、専任の担当者がほぼ毎日のように石けんが作られる工程の案内をしているそうである。

「体をきれいにする石けんは、きれいな工場から生まれる」という考えで、従業員は整理・整頓・清潔・清掃・躰のいわゆる5S活動に取り組んでおり、工場内は化学系の工場とは思えないほどクリーンな状態に保たれている。



工場見学風景



企業概要	DATA
企業名	シャボン玉石けん 株式会社
代表者	森田 隼人
所在地	北九州市若松区南二島2-23-1
TEL	093-701-3181
FAX	093-791-7250
資本金	3億円
創業	1910年
従業員数	49名
事業内容	無添加石けんの製造
URL	http://www.shabon.com/

マーケティング 専門家の目

シャボン玉石けん(株)は、明確な企業理念のもと、無添加にこだわり新製品開発を進め需要を開拓してきた企業である。経営姿勢から始まり、顧客から届く感謝の声を励みに仕事に取り組む末端の従業員まで、企業体そのものが“オンリーワン”にふさわしい企業と言ってもよいであろう。